

## 新たな排ガス規制＝PN規制、ご存知ですか

弁護団 原 希世巴

### ✿PM規制してもPM2.5は減らない？

粒子状物質（PM）の排ガス規制は排出された粒子状物質の重さ（mg/km）を規制するものです。そこでメーカーは排出される粒子を小さく、軽くして規制をクリアしてきました。こうしてかつてのもうもうたる黒煙はなくなりましたが、目に見えないPM2.5やナノ粒子はむしろ増大する傾向すらありました。その結果、PM規制は強化されても、PM2.5は殆ど減らないのが実態。しかもそれら微小粒子こそぜん息等呼吸器疾患ばかりでなく循環器疾患、さらには母体を通じて胎児の脳神経系や生殖器へ悪影響をもたらす「主犯」であることが明らかになっています。

### ✿PN規制ってご存知ですか

この微小粒子を削減するためには、PMの重さではなく、排出個数を規制する必要があります。これをPN（Particulate Number）規制といいます。

欧州では2014年9月からこのPN規制が実施されています。図のとおりです。兆単位の粒子数を把握する技術は既に確立されています。今、国連欧州規制委員会では、個数規制の対象粒子を下限値を23nmから10nm（ナノメートル。1nmは1,000分の1ミクロン＝100万分の1mm）に引き下げを検討中です。欧州ではどんどん話が進んでいます。

### ✿日本でも...？

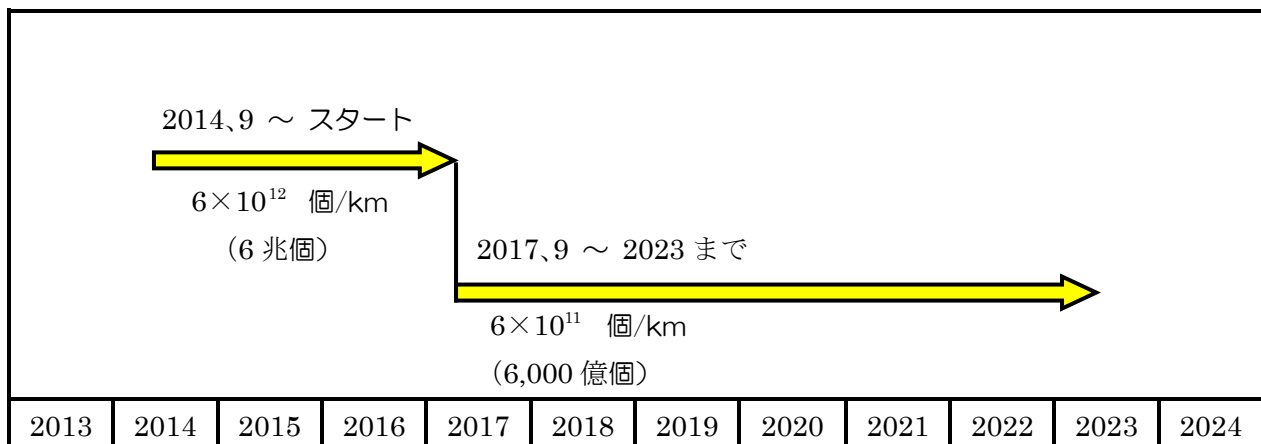
そこで今年の公害総行動の水・大気局交渉で、私は「日本でもPN規制を導入せよ」と要求してみました。すると環境省からは「確かに重量規制では限界がある。PN規制については今後積極的に検討していく」との回答を得ました。

その後7月の道路連絡会でも追及したところ、欧州の測定粒子の下限値引き下げのため、今年実施されるラウンドロビン試験（測定方法や測定装置の信頼性の検証のために共同試験）に日本も参加・協力する予定であるとのことでした。

日本のメーカーもディーゼル車を欧州に大量に輸出しているのですから、すぐにでも日本でPN規制ができない理由はありません。早期に規制を開始すべきです。

皆様も今後の動きに大いにご注目を。

欧州のPN規制値



あおぞら連絡会「第2回理事会」のお知らせ

12月14日（木）18：30 東京地評地下会議室